

ジュニア賞

家事を可視化する！

井上 莓（高校1年生：大阪府）

世の中には、家事の分担が偏っている家庭が多くある。家族全員で家事を分担すれば大変さは大きく軽減されるはずだ。また、家族1人1人に余裕ができれば少子化の解決にもつながる。そのような思いで、私はこのゲームを提案する。

このゲームでは、1つ1つの家事にポイントがついており、家事の大変さでポイントの大きさが決まる。時間や手間がかかるものほどポイントは高く、そうでないものほどポイントは低い。そして家事のクオリティーで加点がある。例えば料理の美味しさ、掃除の丁寧さなどで、ポイントが高くなるようにする。1ヶ月後家族の中でポイントが1番高い人が勝ちである。このゲームの利点は、家事が数値化されることで家事の負担量が明確になることだ。感覚的に家事をした気になっている人は多くいると聞く。そういう人たちが、自分のできていなさに気づく、良い機会になるだろう。また、1番になった人に各家庭でご褒美を用意しておけば、皆が家事に積極的に取り組むようになると思う。しかし、1人1人が家事をできる時間は違う。例えば夫婦のうち、片方だけが働いている場合、もう一方の人が家事をできる時間が多くなる。また、子供たちは学校や習い事などにより家事をできる時間は減る。だから1人1人が家事をできる時間を出し、1時間あたりのポイントを算出すると公平に判断できるはずだ。最終的に、全員のポイントが同じくらいになったら家事を分担できているということになる。1番ポイントが高い人と、1番ポイントが低い人の差が5ポイント以下になれば、家族全員にご褒美を用意するというルールも設けてみる。

このゲームがあれば、皆がモチベーションを持って家事をできるだけだけでなく、家族の絆が深まると思う。また、このゲームは家事だけでなく、育児や介護にも適用できる。ゲームという楽しみを通じて、少子化や介護などの様々な問題が解決に向かうことを願う。